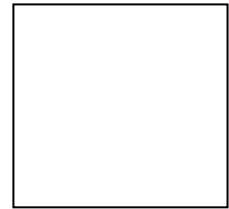


## 2014年度「研究方法論」試験問題

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_



問 1. 順位法とはどのような調査方法なのか簡単に説明しなさい。(10点)

ある質問に対して用意された複数の回答カテゴリについて、調査対象者が適切だと考えられる順に順番を付けさせる回答方法。カテゴリ数が増えると、順位をつけることが急激に難しくなる。

問 2. 科学理論と非科学的理論の違いは何か述べよ。(10点)

科学理論は反証の可能性があるが、非科学的な理論はそうではない。

問 3. 留め置き調査とはどのような調査方法なのか簡単に説明しなさい。(10点)

調査員が調査票を調査対象者の自宅などに配布し、記入後の調査票を調査員が再び回収するという調査方法。「配票調査」とも呼ばれる。調査票の配布に郵便を利用することもあり、その場合、「郵送留め置き調査」と呼ばれる。

問 4. 臨床研究で行われる RCT とは何か述べよ。(15点)

RCTとはRandomized Clinical Trial、もしくはRandomized Compared Testの略号として用いられる。無作為化臨床試験または無作為化比較試験などと訳されている。

ケースとコントロールを無作為に2群に分け、異なる処理の間の差を統計学的に研究するための研究デザインの1つである。

問 5. 集団面接の問題点について述べよ。(15点)

調査対象者相互の会話を通して、必要な情報を得ようとする面接方法。グループ内に過度な緊張や敵対的關係などがある場合、面接は成功しない。どちらかという、予備的な情報を得るために行う面接。

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

問 6. 質問紙を作成する場合に考慮すべき点について述べよ。(20点)

どのような質問紙を作成すれば、研究目的に合致するデータを収集できるかを考え、用語や調査対象を明確にする。実際に調べたい内容が決まったならば、それを的確な文章によって、質問項目としてまとめる。

質問紙が作成できたら、以下の点について検討する。

- 1) 誤字, 脱字をチェックする。
- 2) 字の大きさなどが見やすいかをチェックする。
- 3) 質問に誤解をまねく表現がないか。
- 4) 回答しやすいか。
- 5) 質問項目の順番は適切か。
- 6) 調査班以外の人に調査票をみてもらう。

少しでも気になる点があれば、より分かりやすく訂正し、よりよいものにする。

問 7. 質問紙調査における自由記述回答の問題点について述べよ。(20点)

(1) 調査の回収率を下げるので、自由記述の回答形式は可能な限り避ける。

(2) 自由記述は何でも書けるのでよいようだが、書き慣れていない人には、心理的な負担は大きい。

(3) 書き慣れた人や、言いたがりやの傾向が助長されるので、調査結果にバイアスが入るために、参考意見程度の価値しかないので、集計に苦勞する割にはメリットは少ない。